

「働くことの意味を考える」

- 仕事を通して「生活できるだけの収入の確保」と「自己実現」をめざそう

林 明夫
(経済同友会 会員
株式会社 開倫塾代表取締役社長)

1. はじめに

(1) 本日の授業の目標(ねらい)

働くことの意味を、自分の問題として考えられるようにすること。

就職するまでの手順と仕事を身に付けるまでの手順を理解してもらうこと。

自己責任、自助努力、自分の世界は自分で切り開くには、「自己学習能力」を身に付けることが第一。「勉強の仕方」を自分の力で考えること、身に付けることを理解してもらうこと。

(2) 自己紹介

私の好きな言葉

(ア)ブルドック魂 (食いついたら離すな) 中学校のクラス担任 岡田先生

(イ)自他共栄 (自分も他人も共に栄えよう) 中学校の柔道部部长 椎名先生

- 練習で泣いて試合で笑え -

(イ)一所懸命 (一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)
高校のマラソン大会のモットー

(ウ)独立自尊 (国も個人も独立してはじめて、自ら尊ばれる)
慶應義塾福沢諭吉先生

(エ)一生勉強、一生青春
足利市在住の書家 相田みつを先生

私の仕事

(ア)株式会社 開倫塾 代表取締役 社長

(イ)マニー株式会社 社外取締役

(ウ)特別養護老人ホーム 清明苑 理事

(エ)東日本高等学院 評議員

(オ)A社 経営再建担当

(カ)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

(キ)栃木県社会教育委員 (栃木県教育委員会)

(ク)学校制度改革に関する懇談会 委員 (宇都宮市教育委員会)

2. 働くことの意味を考える

(1) 何のために働くのか(働く理由)

生活できるだけの収入を(一家族として)確保するため。

仕事を通して「自己実現」するため。

(2) 「仕事」とは何か

お客様のお役に立つこと。

「お役に立つ」とは、お客様の「問題解決」に役立つこと。

*役に立たなければ、つまり「問題解決」できなければ、仕事ではない。

そのためには、「何がお客様にとっての問題かを発見」し、「その原因」を突き止め、「解決の方法」を自分の力で考え出し、「広告」し、お客様が手に入れやすい「場所」と「価格」で提供する「しくみ」をつくらなければならない。

すべての仕事には、「社会的使命(mission ミッション)」がある。自分の頭で「社会的使命」とは何かを考えながら、毎日の仕事をするのが求められる(自己責任、自助努力で)。

ただし、何をやっても自由という訳ではない。ルールの中でのプレイが大事。

{ 道徳
法律(法律をよく勉強し、法律違反はしない。犯罪行為を犯さない。)

(3) 学校の勉強は、仕事に役立つか - 役立つ、すべて役立つ -

教科はすべて役立つ。

かくれたカリキュラムも役立つ。

(ア)トイレ掃除が一番役立つ。整理整頓は、仕事の基本。

(イ)部活動、学級活動、生徒会活動、学校行事。

(ウ)欠席しない、遅刻しない、早退しない、ノートを取る、静かに人の話を聴くこと。

(エ)勉強の仕方を身に付けること(辞書を引く、音読練習、書取練習、計算練習)。

3. 仕事を探し、就職し、仕事を身に付けるまで

(1) 仕事探し方

自分はどのような生き方をしたいのかを絶えず考えること。その上で、その生き方を実現するのに最もふさわしい仕事に就くための最大の努力をすること。進学先の決定、スキルの身に付け方。

ただし、思ったようにならなくても、理想の生き方に最も近いと思われる身近な仕事に就くことをお勧めする。その仕事をしながら、本当にやりたいことをやるための能力を身に付ける。新聞を毎日1時間以上読み、また、いろいろな人の話を聴き、これはという所を見学を訪れ、世の中にはいろいろな仕事があることを知ること。インターンシップにも積極的に参加すること。職業体験を積み重ねること。(ただし、遊ぶお金欲しさのためのアルバイトはやらないこと)。

(2) 就職の手順 - 採用試験に合格すること(合格しなければ仕事には就けない)

会社の内容をよく調べること(お客として行く、公表されている資料で調べる、インターネットも有効)。

会社訪問をすること。

履歴書を提出すること。

学科試験・面接試験に合格すること。

試用期間中にできるだけ仕事を覚えること。

研修(集団研修、個別研修)期間に勉強すること。

(3) 仕事の身に付け方

マニュアル以外にも様々なことを身に付けなければ、人様のお役に立つ仕事はできない。

仕事の失敗はお客様との信頼を失うことに繋がり、会社は倒産にまで至ることもある。

上司、同僚、お客様から教えて頂いたことをノートにメモし続け、そのメモを確実に覚える作業をし続けること。

4 . おわりに - 『一生勉強 一生青春』 -

(1) 人生は長い。上手に健康管理をすれば 100 歳以上まで生きられる。何のために生きるのかを
考えることが大事。

(2) 35 歳まで 『勉強、勉強、また勉強』...第 1 ステージ

70 歳まで 『仕事を通して、社会のお役に立つこと』...第 2 ステージ

105 歳まで 『自然や文化に親しみ、心豊かに(心静かに)精神の充実を果たす』

...第 3 ステージ

(3) 最も求められる勉強(大事な能力)

「英語」と「コンピュータ」を、「学科」と同じように身に付け使いこなせること。

異文化の人たちと協力して仕事ができること(考え方や大切にすることが異なる人たちと理解し合えること)。

自律する心が持てること(自分自身をコントロールできること)。

* それには、自分は何のために生きているのかという強い mission (ミッション) 社会的使命
が要る。

(4) 「書き抜き読書ノート」のすすめ

本をゆっくり何回も読んで考えよう。

読んでいて心に触れた文章に線を引き、「書き抜き読書ノート」に書き写そう。

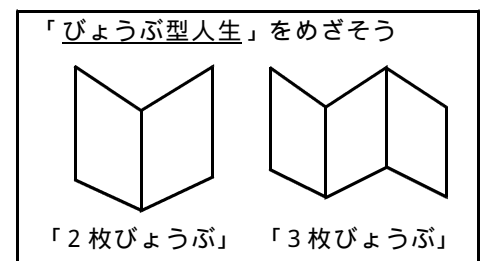
書き写したもので気に入ったものは、何回も何回も読み直そう。

* 新聞も毎日 1 時間は読んで、気に入った記事はスクラップしたり、ノートに書き写そう。

(5) 「びょうぶ型人生」のすすめ

人生でやりたいことをいくつか見つけ、コツコツやり
続けよう。

「2 枚びょうぶ」「3 枚びょうぶ」で、豊かな人生が
送れる。その中に、ボランティア活動や NPO、NGO
活動も入れてみよう。



(6) 『いつまでも若々しく生きる』(中村天風先生の言葉)こと

5 . ワークショップ 『履歴書を書いてみよう』

感謝

ご清聴を感謝します。